



平成 22 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 高萩 光紀  
 コード番号 5 0 2 0 東・大・名証第 1 部  
 問合せ先 財務 I R 部 I R グループマネージャー  
 山本 真義  
 ( 電話番号 03-6275-5009)

平成 23 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異  
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 8 月 3 日に公表した平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 10 日に公表した平成 23 年 3 月期通期連結業績予想についても、修正しましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異  
 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 22 年 8 月 3 日発表)	4,440,000	50,000	85,000	260,000	104 円 55 銭
<b>実 績 ( B )</b>	<b>4,531,465</b>	<b>76,378</b>	<b>115,128</b>	<b>286,728</b>	<b>115 円 29 銭</b>
増 減 額 ( B - A )	91,465	26,378	30,128	26,728	-
増 減 率	2.1%	52.8%	35.4%	10.3%	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	-	-	-	-	-

2 . 平成 23 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 22 年 5 月 10 日発表)	9,160,000	170,000	220,000	270,000	108 円 57 銭
<b>今回修正予想(B)</b>	<b>9,390,000</b>	<b>150,000</b>	<b>220,000</b>	<b>320,000</b>	<b>128 円 67 銭</b>
増 減 額 ( B - A )	230,000	20,000	0	50,000	-
増 減 率	2.5%	11.8%	0.0%	18.5%	-
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	-	-	-	-	-

### 3. 第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想修正の理由

(第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異の理由)

第2四半期連結累計期間においては、石油製品の増販等により、売上高は前回予想(平成22年8月3日発表)を上回る結果となりました。また、営業利益・経常利益・四半期純利益につきましても、増販に加えて石油製品のマージンが改善したことなどにより、予想損益を上回る結果となりました。

(通期連結業績予想修正の理由)

通期の連結業績予想は、石油製品の販売数量が増加する見込みであることなどにより、売上高は対前回予想(平成22年5月10日発表)比2.5%増の9兆3,900億円となる見通しです。

石油製品マージンの改善はあるものの、円高による原油代の低下に伴い、たな卸資産評価による影響が悪化することなどにより、営業利益は対前回予想比200億円減益の1,500億円、銅価格上昇に伴い持分法損益が良化することなどにより、経常利益は前回予想と同額の2,200億円となる見通しです。なお、たな卸資産評価の影響を除いた経常利益相当額は対前回予想比850億円増益の2,550億円となる見通しです。

〔たな卸資産の影響〕	(単位：億円)		
	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)
たな卸資産の影響	500	350	850
たな卸資産の影響を除いた 営業利益相当額	1,200	1,850	650
たな卸資産の影響を除いた 経常利益相当額	1,700	2,550	850

また、経営統合に伴う負ののれんの一括償却額(負ののれんの発生益)が対前回予想比465億円増加の2,265億円となったことなどから、当期純利益は対前回予想比500億円増益の3,200億円となる見通しです。

本見通しは、通期平均で原油価格(ドバイ原油); バレル当たり78ドル(下期80ドル)、銅の国際価格(LME価格); ポンド当たり322セント、円の対米ドル相場; 84円(下期80円)を前提としております。(前回予想: 原油価格; バレル当たり80ドル、銅の国際価格; ポンド当たり280セント、円の対米ドル相場; 90円)

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、「考えます」、「期待します」、「見込みます」、「計画します」、「意図します」、「はずです」、「するつもりです」、「予測します」、「将来」、その他、これらと同様の表現、又は特に「戦略」、「目標」、「計画」、「意図」等に関する説明という形で示されています。多くの要因によって、本資料に記載されている「将来に関する記述」と大きく異なる実際の結果が、将来発生する可能性があります。かかる要因としては、(1)マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における会社の競争環境などの業界の一般的な状況、(2)規制、訴訟に関する事項及びリスク、(3)法制上の変化、(4)税法その他の法律の改正、一般的経済状況の変化が及ぼす影響などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以上